

アグリ Agri横浜

地域の問題を浜風にのせて

P.7-8 やっばり国産農畜産物

特集 進めよう!!みんなのよい食プロジェクト



P.6 旬彩人
緑区白山 磯貝 猛さん

P.9-10 録の情報箱
冬の花 プリムラ

P.15-16 濱邊浪漫
都筑区南山田町 織茂養鶏場



年金受給者招き シルバーセミナー開催

JA横浜で年金を受け取っている人にいつまでも元気で過ごしてもらおうと、



「ソイヤ!」激しい動きで観客を楽しませました



あら不思議! どうして出られるの?

9月14日、保土ヶ谷公会堂(保土ヶ谷・和田町駅前支店)では、女性部員による踊りが披露され、15日の港南公会堂(港南・日野・港南台・上大岡支店)では、デラックススイリユージョンショーに驚きの声が上がりました。



はまぼくの歌「いただきます!」 横浜の食育ソングが完成

横浜市ブランド豚肉「はまぼく」をテーマにした歌「いただきます!」が9月13日に、開国博Y150のヒルサイドエリアで、作詞作曲したN、U、(エヌユー)の2人によって披露されました。



はまぼくの歌「いただきます!」を熱唱するN、U。

歌作りにあたり、7月にはJA横浜が協力し、N、Uとスタッフらが泉区にある鈴木孝利さんの養豚場を見学。「命をいたたく」をテーマにした歌が完成し、N、Uは「生きている豚を見て、命をもらって生きているということをあらためて意識した」と曲のテーマについて説明しました。

トおなかグーグーグーこぶたプープー残さず食べて大きくなるからね元気のしるし今夜ははまぼくいただきます!と子供から年配の方まで口ずさめる楽しい歌に仕上がりました。

歌の披露後はまぼく出荷グループからN、Uへ、はまぼく5kgが贈られました。



鈴木さん(右から二人目)に出荷までの流れなどを聞きました



青年の主張発表 学習会で介護について学ぶ

青壮年部は9月2日、みなみ総合センターで「活動実績・青年の主張発表会、学習会」を開きました。

参加した部員ら約120人の前で、鶴見支部の金井健さんは「食農授業は自給率アップにつながる」、本郷支部の伯耆利勝さんは「私と青壮年部」、二俣川支部の小林龍之介さんは「胡蝶蘭生産と青壮年部皆さんとの出会い」と題し、それぞれの思いを主張しました。



会場を歩きながら部員に質問をする小谷さん

学習会では、フリーアナウンサーの小谷あゆみさんが「介護の達人は人生の達人! いつまでも楽しく生きてこそ」と題して講演し、介護番組で出会った達人から得た、世話を続けるための心の持ちようやリフレッシュのこつを紹介しました。



左から小林さん、伯耆さん、金井さん